令和6年 第2回 定例会

令和6年第1回定例会以降における町政の主なものについてご報告申し上げます。
最初に、お手元に第1回定例会以降における工事発注一覧表を配付しておりますのでご照覧ください。

次に、要望活動についてご報告申し上げます。

5月14日、15日、東京都で開催された「全国道路利用者会議定時総会」並びに「道路整備促進期成同盟会全国協議会通常総会」及び「命と暮らしを守る道づくり全国大会」にそれぞれ出席し、総会決議、大会決議をもとに、令和7年度の北海道の道路整備や道路予算の確保等について、道内選出の国会議員や国土交通省などに要望を行いました。

6月3日、室蘭地方総合開発期成会として、室蘭開発建設部、胆振総合振興局に対し、令和7年度の国費等の要望を行いました。

本町といたしましては、国道453号蟠溪道路の整備促進と交通安全施設等の整備、上久保内・幸内地区地すべり対策の推進、道道洞爺湖登別線の整備促進、有珠山外環状線の整備に伴う橋梁架け替えと道路整備の促進等について要望を行いました。

なお、当日は森議長にもご同行をいただいております。

行政報告

はじめに、犯罪被害者支援に関する協定の締結についてご報告申し上げます。

本年、第1回定例会にて壮瞥町犯罪被害者等支援条例を議決いただき、4月1日から施行しましたが、5月9日、伊達警察署と「犯罪被害者等支援に関する協定」を締結いたしました。

本協定については、町が、犯罪被害者等から相談または申請を受けた際、警察から、必要な情報の提供を受けられる環境を整えたものであります。

犯罪のない地域社会づくりに努めるとともに、事案が発生した場合には、条例とこの協定に基づき、適切に対応していく所存です。

次に、地域経済の状況についてご報告申し上げます。

令和5年度の観光入込客数は168万1千人で、前年比144%となり、コロナ前の178万4千人との比較では、約10万人ほど少ないものの、ほぼ、回復に近づいたものと認識しております。これはインバウンドを中心とした旅行需要の回復によるところが大きく、昭和新山の入込客数増と町内宿泊施設の宿泊客の増が堅調であったことによるものと考えております。

観光入込客数増に加えて、特に新規開業された洞爺湖鶴雅リゾート洗の舘での新規雇用や定住人口の増加などの経済効果も大きいと考えており、元気な産業と未来へつなぐ明るいまちづくりにつなげられる足掛かりになるものと期待しているところであります。

また、燃油、物価の高騰、電気料金の値上げなど、地域中小企業や小規模事業者の支援のために、引き続き商工会などと連携し、中小企業等事業継続支援事業を継続してまいりました。町では引き続き、地域で頑張る中小企業・小規模事業者の皆様のために関係機関と連携し伴走しながら、地域経済を支えていく考えであります。

以上、令和6年第1回定例会以降における町政の主なものについてご報告といたします。